

令和6年度 事業報告

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、当初計画どおりすべての事業が順調に実施された。

令和5年度に改訂した小児生活習慣病の啓発パンフレット（子どもの生活習慣病と健康づくり）の委託発行化、予防医学技術研究会では抄録の電子化、実施ガイドラインによる大会研修会の開催標準化など新たな取組を通じて、国民の健康増進と支部の活動支援に努めた。

また、令和6年3月の公益変更認定により、事務局は新たな体制による最初の年度となった。新会費規程による会費の適正化、検診車整備推進事業（宝くじ助成事業）の実施標準化、就業規則等諸規程制定による組織秩序整備等を行い、内閣府公益認定等委員会の指摘によるガバナンス改善向上に努めた。

主たる取組み

- 1 予防医学事業推進全国大会、予防医学技術研究会、業務研修会、情報統計研修会、保健指導研修会及び各地区会議は、すべて計画どおり現地開催した。
各行事の実施ガイドラインを制定し、開催の実施基準と経費の標準化を行った。また予防医学技術研究会では、初めて抄録の電子化を行った。
- 2 東京都支部が杉並区で実施する「小児生活習慣病予防健診」を中央会方式の健診として、全国の支部に啓発活動を行った。
- 3 令和6年3月の公益変更認定における内閣府公益認定等委員会からの指摘に対応し、ガバナンス整備に努めた。
- 4 平成25年度から取り組んでいる宝くじ助成事業では、福島県支部と埼玉県支部に乳房デジタルX線検診車を配車することができた。（通算25台配車）

I 予防医学事業

1 予防医学に関する広報活動、健康に関する知識の普及・啓発事業

(1) 出版物の発行、配布活動

① 機関誌「予防医学ジャーナル」の発行

内容を一部変更し、年5回（うち論文集1回）発行した。

② 生活習慣病予防に関するリーフレットの作成発行の委託

小冊子「子どもの生活習慣病と健康づくり」を、各支部及び希望する団体に発行するため、一般社団法人日本家族計画協会に作成発行を委託した

(2) ホームページによる情報提供活動

① 国及び関係機関から発せられる情報の提供

厚生労働省、文部科学省や日本医師会等から発せられる情報（通知や審議会傍聴等）をわかりやすく整理し、遅滞なく配信した。

② 支部間及び関係機関との情報交換・意見交換の場の提供

ホームページ内に「情報ランド」コーナーを設置し、支部間及び関係機関との間で情報交換と意見交換を活発に行い、正しい情報の共有化に努めた。

2 健診に関する調査研究事業

(1) 国民の健康啓発のための講演会及び研究会等の開催

① 予防医学事業推進全国大会の開催

ア) 開催日

令和6年11月22日

イ) 開催場所

長崎県長崎市 ホテルニュー長崎

ウ) 大会テーマ

生涯にわたる健やかな生活を目指して

エ) 記念講演

赤ちゃんからお年寄りまで ～生涯を通じた予防接種～

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学 教授 森内浩幸 氏

オ) 中央会表彰(受賞者)

・感謝状（国井記念賞）

公益財団法人東京都予防医学協会 代表理事・理事長 久布白兼行 氏

公益財団法人福井県予防医学協会 専務理事・事務局長 上坂通子 氏

・予防医学事業中央会賞（小宮記念賞）

公益財団法人神奈川県予防医学協会 臨床検査部次長 坂牧真盛 氏

公益財団法人長崎県健康事業団 事務局長兼総務課長 濱崎敏朗 氏

・奨励賞

28支部33名の中堅職員

② 予防医学事業推進各地区会議の開催

・東北地区会議	10月25日	仙台市	メトロポリタン仙台
・関東甲信越地区会議	11月29日	高崎市	エテルナ高崎
・近畿東海北陸地区会議	12月12・13日	金沢市	金沢東急ホテル
・中国四国地区会議	12月5日	高知市	三翠園
・九州地区会議	10月17日	鹿児島市	ホテルレクストン鹿児島

③ 全国予防医学技術研究会の開催

ア) 開催日

令和 7 年 2 月 20・21 日

イ) 開催場所

京都府京都市 京都テルサ

ウ) 研究会テーマ

「新たなる予防医学技術の向上をめざして」

エ) 研究発表

77 題

カ) 優秀賞（受賞者）

- | | |
|--------------------|-----------|
| ・公益財団法人鳥取県保健事業団 | 藤井和晃 氏ほか |
| ・公益財団法人神奈川県予防医学協会 | 長谷川美樹 氏ほか |
| ・公益財団法人岩手県予防医学協会 | 引木珠美 氏ほか |
| ・公益財団法人埼玉県健康づくり事業団 | 染野織絵 氏ほか |

(2) 生活習慣病予防についての調査研究

① 健診検査精度管理の調査研究

全国支部が行っている日常検査データと日本医師会精度管理調査の結果の集計を行い、解析して「令和 5 年度精度管理事業報告書」にまとめ公表した。

② 学会や関係機関との調査研究

ア) タンデムマス法による先天性代謝異常検査の共同開発システムの運用管理に係る検討と拡大検査項目の導入の検討【継続】

イ) 「肝線維化マーカーMac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体（M2BPGi）を一般健診・肝炎検診に応用した場合の検討」の論文化

3 健診の実施体制と精度管理の維持向上の支援事業

(1) 研修事業

① 全国業務研修会の開催

ア) 開催日

令和 7 年 2 月 27・28 日

イ) 開催場所

福井県福井市 ザ グランユアーズフクイ

ウ) 講演

「地域医療 30 年で学んだ人生 100 年時代の健幸学」

おおい町国民健康保険 名和田診療所 所長 中村伸一 氏

エ) テーマディスカッション

「健診における DX ～先進支部の取組～」

② 全国情報統計研修会の開催

ア) 開催日

令和 6 年 8 月 22・23 日

イ) 開催場所

広島県広島市 ホテルグランヴィア広島

ウ) 全体討議

「情報セキュリティについて考える」

③ 保健指導研修会の開催

ア) 開催日

令和 7 年 3 月 5・6 日

イ) 開催場所

東京 ルーテル市ヶ谷センター

ウ) テーマ

第 4 期特定健診・特定保健指導の実施状況と課題について

エ) 講演

「協会けんぽが健診機関に期待すること」

全国健康保険協会 保健第二グループ長 大和昌代 氏

(2) 健診検査データの精度管理事業

精度管理専門委員会を中心に事業参加施設から毎月検査データ収集。さらに管理資料を用いての調査を行い、評価基準を満たした施設に認証書を発行した。

(3) 検診車整備推進事業

一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業に検診車助成を申請し、2 支部に検診車を配備した。

- | | |
|--------------------|---------------|
| ・公益財団法人福島県保健衛生協会 | 乳房デジタル X 線検診車 |
| ・公益財団法人埼玉県健康づくり事業団 | 乳房デジタル X 線検診車 |

(4) 新しい小児生活習慣病予防健診（中央会方式）に関する説明会の実施

令和 6 年 11 月 7 日ホテルグランドヒル市ヶ谷において、小児生活習慣病予防健診を実施する支部に対して、新しい小児生活習慣病予防健診（中央会方式）の説明会を実施した。

講師 和洋女子大学家政学部健康栄養学科 原 光彦 教授

中央会 10 支部ほか 2 教育委員会 計 50 名が参加した。

2 法人運営

1 理事会等

- (1) 理事会 年4回開催（6月5日、6月21日、9月18日、3月26日）
- (2) 評議員会 年1回開催（6月21日）
- (3) 業務執行理事会 年5回開催
（4月17日、5月22日、9月25日、1月20日、3月21日）

2 委員会等

- (1) 企画委員会 年2回開催（7月18日：東京都、11月21日：長崎市）
 - ・ 常任企画委員会（年3回開催：東京都）
- (2) 技術委員会 年1回開催（2月19日：京都市）
 - ・ 常任技術委員会（年1回開催：東京都）
- (3) 公益事業を企画運営する委員会
 - ① 学術委員会（調査研究事業）
 - ㊦ 優秀賞審査委員会（4月25日開催）
 - ② 研修委員会（研修事業）
 - ㊦ 業務研修委員会（10月29日、2月6日開催）
 - ㊧ 情報統計研修委員会（5月9日開催）
 - ㊨ 保健指導研修委員会（11月10日、12月25日開催）

3 会議等

- (1) 全国運営会議（年2回開催：7月18日：東京都、11月21日：長崎市）
- (2) 技術運営会議（年1回開催：2月19日：京都市）

4 関係機関との連携

- (1) 健診団体中央本部等との連携

結核予防会、日本対がん協会、全国厚生連、全国労働衛生団体連合会等と意見情報交換を行った。

3団体（結核予防会・日本対がん協会）連絡会議 年3回（9月17日、12月23日、1月17日）

- (2) 特定健診・特定保健指導の集合契約

日本医師会及び健康保険組合連合会等関係機関が実施する特定健診・特定保健指導に関して、全国支部をまとめて集合契約を締結した。

5 安定的運営基盤の整備

(1) 諸規程の整備

令和 6 年 3 月 5 日の公益変更認定に際して、内閣府公益認定等委員会からガバナンス改善（諸規程の整備等）の指摘を受け、就業規則等 8 規程（通算 20 規程）の規程等を制定した。

(2) 大会・研修会等の開催標準化

予防医学事業推進全国大会、予防医学技術研究会、業務研修会、情報統計研修会、保健指導研修会及び地区会議（5 地区）の開催要領（基準）を定め、開催規模及び費用の標準化を図った。

(3) 本部支部役職員名簿の発行

これまで本部支部役職員名簿は、機関誌「予防医学ジャーナル」に掲載していたが、個人情報保護の観点から単独の名簿として作成し、支部等の関係者のみに配布した。